

試験湛水中の樅川ダムからの放流による渇水対応(令和7年6月～10月)

*試験湛水中であるため、通常は湛水を優先し、香東川本川のかんがい用水や新規水道用水を補給していない。

○令和7年渇水状況

- ・四国地方では、6月27日に梅雨明け（記録的に早い梅雨明け）となり、香川県内県東部（東讃及び高松（試験湛中の樅川ダムを除く））のダムにおいては、8月31日時点の平均貯水率が47%と平年値80%を大きく下回った。
- ・特に、かんがい面積の大きい内場ダムでは、かんがい用水が必要な9月下旬での利水容量の枯渇や、夏季における貯水位低下に伴う水質悪化が懸念された。

○樅川ダムにおける対応

内場ダムの利水放流を低減させ、内場ダムの同一水系で上流側に位置する試験湛中の樅川ダムから、緊急的に約1,800千m³の放流を実施したことにより、内場ダムの枯渇を回避し、水道用水及びかんがい用水の安定的な取水を確保した。

